

上サロベツ自然再生協議会 第14回再生普及部会 議事概要

- ・日時：平成26年3月6日（木）13：30-14：30
- ・場所：豊富町定住支援センター
- ・出席者：22名（個人4名、団体・機関18名）
- ・傍聴者：1名（うち報道関係者1名）

1. 開会

2. 報告

平成25年普及活動の結果について（資料1-1, 資料1-2, 資料2）

○エコモ－☆サポ－ター田中代表及び環境省から報告

《質疑》

（構成員）今回の報告を受けて、エコモ－☆サポ－ター活動、自然再生の普及に向けた取り組みが進んだ印象を受けた。是非今後もこのような活動を継続していただき、湿原と農業の共生をテーマとした活動が地域づくりにつながっていければと思う。

（座長）自然再生の普及に向けた取り組みを更に進めていただきたいというご意見なので、今後もよろしくお願ひしたい。

（構成員）前・再生普及部会座長の辻井達一先生から以前、緩衝帯の今後の活用方法についてお話が出ていたが、その後どうなったのかお聞きしたい。

（事務局）緩衝帯については、再生技術部会にてその効果のモニタリングを行っているところ。現段階で今後の活用方法は決まっていらないが、今後の議論の中で検討していきたい。

3. 議題

平成26年普及活動の進め方について（資料3）

○エコモ－☆サポ－ター田中代表から説明

《質疑》

（構成員）平成26年9月で利尻礼文サロベツ国立公園が指定40周年を迎えるが、エコモ－プロジェクトの活動と連携するような計画があるかお聞きしたい。

（事務局）指定40周年の記念行事に関しては現在検討中だが、利尻、礼文、サロベツそれぞれの地域で行われている保全の取り組みや地域の方々にスポットが当たるような内容にしたいと考えている。サロベツに関しては自然再生事業やエコモ－プロジェクトにスポットを当て、具体的にはサロベツ・エコモ－Dayに合わせてフォーラムを行うこと等も検討している。

（座長）平成26年普及活動の進め方について、再生普及部会として承認することによりか。

（一同）異議なし

4. その他

○特になし

5. 閉会